

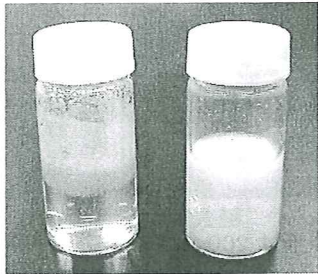
# CoQ10が包接により進化!

## 美肌・筋肉疲労改善などを 第14回国際CDシンポで発表

### シクロケム

シクロケム(東京都中央区、TEL:03-5614-7147)は、先日京都で行われた第14回国際シクロケムシンポ(シクロケムシンポジウム)において、「吸収性および持続性を高めた包接化CoQ10による抗加齢と健康増進作用」について招待講演を行った。

国際シクロケムシンポジウムが日本で開催されたのは今回が3回目となる。当日はシクロケム・代表取締役の寺尾啓二氏が自社の研究結果の発表を



左がCoQ10原末。  
右が包接化CoQ10

行った。  
CoQ10はγCD(シクロデキストリン)で包接することで、高分散性と徐放性が高まり、吸収性、持続性が向上。30mg(包接体として150mg)の少量で生体機能改

善効果が得られることが同社の研究により明らかになっている。

市販の水溶性CoQ10、あるいは吸収性を高めた医薬製剤のCoQ10を摂取後、血中のQ10最高濃度が半減する時間が19時間であるのに対して、包接化CoQ10は倍の38時間と血中CoQ10を高濃度で維持できるという結果がでている。

またこれに關し、3回にわたり同じ試験を繰り返し、全てにおいて同様の結果が得られていることから、再現性を高めて

いる。

血中Q10濃度を高い状態で維持することは、▼真皮内の繊維芽細胞を活性化することで肌の状態の改善▼8-OHdGの有意な減少▼血中CPKとLDH及び尿中Crの減少による筋肉細胞の効果的な保護などの生体機能改善効果が得られることがヒト試験により明らかになった。

これらのことから同社では包接化CoQ10を「体感持続型CoQ10」と位置づけ、健康食品市場への普及を行って

いる。

また、この包接化CoQ10と組み合わせることで効果的な機能が得られる成分の提案として、コラーゲンペプチドと、αリポ酸包接体をピックアップ。

コラーゲンペプチドとの併用では軟骨成分に有意な再生傾向が見られている。またαリポ酸包接体は30人の高校生を対象にした試験で3000メートル走のタイムが平均12分21秒から11分54秒と約30秒縮まったことを発表した。